



本はともだち



No. 13

(2022.7.1)

八木南小学校

長崎小学校

Book is Friends



戦争の^{せんそう}ことを知ることは、^し平和^{へいわ}ってなに？を考えること。
今回の^{こんかい}テーマは『平和を考える』です。



『しあわせなときの^{ちず}地図』戦争^{せんそう}のせいで、家族^{かぞく}と外国^{がいこく}に逃げるこ
とになったソエ。町^{まち}を離れる^{はな}前に一枚^{まい}の地図^{ちず}を広げ、ソエが過^{ひろ}ごし
た^{たの}楽しかった場所^{ばしょ}にしるしをつけてみることにしました。
〔フラン・ヌニョ 文 ズザンナ・セレイ 絵 宇野 和美 訳
ほるぷ出版刊〕



『ま^{しょうわにじゅうねんはちがつむいか}ちんと』昭和二十年八月六日、もうじき3つになる子^こが原子^{げんし}
爆弾^{ばくだん}にあった。その子は^{くる}苦しみのなか、トマトをもうちっと、もう
ちっとと欲^ほしがりながら死^しんでいった。そしてその子は、鳥^{とり}になっ
て私^{わたし}たちの前^{まえ}に現^{あらわ}れる…

〔松谷 みよ子 文 司 修 絵 偕成社刊〕



『子どもたちへ、今こそ伝える戦争 子ども^{こども}の本^{ほん}の作家^{さか}たち 19 人の真^{まこと}実^{まこと}』
みんなが知^しっている作家^{さか}さんたちが、自^じ身^{しん}の戦争^{せんそう}の記^き憶^{おく}を語^{かた}りま
す。柳田邦男^{やなぎたくにお}さんが、「戦争^{せんそう}の恐^{きょう}怖^ふを語^いる意^い味^み」として本^{ほん}書^{しょ}の解^{かい}説^{せつ}
をしてい^{わたし}ますが、私^{わたし}たちは「戦争^{せんそう}の恐^き怖^ふを聞^{かん}く意^い味^み」を考^{かんが}える機^き会^{かい}
になると思^{おも}います。〔講談社 編 名久井 直子 装丁 講談社刊〕

NDC (日本十進分類法) をおぼえよう

2 類 の 巻	
20 歴史・世界史	25 北アメリカ史
21 日本史	26 南アメリカ史
22 アジア史	27 オセアニア史
23 ヨーロッパ史	28 伝記
24 アフリカ史	29 地理・旅行記



『杉原千畝物語』

命のビザをありがとう』

杉原幸子 杉原弘樹 著
金の星社 刊

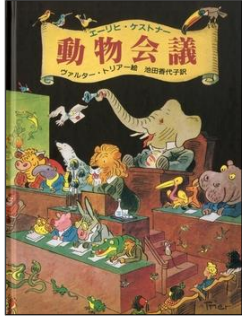


『動物会議』

エーリヒ・ケストナー 作
ヴァルター・トリアー 絵
池田 香代子 訳 岩波書店 刊



200字 de 名作



人間の会議では中々結論がでない状態に腹を立てた動物たちが、自分たちで会議を開きます。議題は「子どもたちのために！」です。さてどんな結果になるのでしょうか？ 人間社会を風刺し、ユーモアたっぷりに描かれたこのお話は、第二次世界大戦が終わってすぐに書かれたそうです。今なお戦争や紛争が繰り返されている人間社会に、あの動物たちは何を思っているのでしょうか？ 是非、読んでみてください。



ことばであそぼう



●●●● <ことわざあそび> — あいているますに数字を選んでね ●●●●

◆ 病は から ➡ (①口 ②気 ③足)

意味：病気は、気の持ち方一つで、重くもなるし軽くもなるということ。

◆ 時は なり ➡ (①金 ②3時 ③運)

意味：時間は貴重で無駄にはいけない。

◆ 猫の も借りたい ➡ (①しっぽ ②ひげ ③手)

意味：非常に忙しく、働き手が不足している様子のたとえ。

※答えは図書館のカウンターにはってあるので見に来てね！

〔編集後記〕第二次世界大戦の終結後77年経った今でも戦争をしている国があります。私たちが暮らしている平和な日本では想像が付きませんが、夏休みの終戦記念日に、平和とは何か、なぜ争いがおこるのか、当たり前前の暮らしがなくなるとはどういうことなのか想像してほしいと思います。